

国語科 支援学級学習指導案

河内長野市立小山田小学校 支援学級

指導者： 上野 仁士 濱田 裕子 原田麗子 安達 義也 芝 真子

1. 日時 令和6年7月 11日(木) 第3時限 10:40~11:25

2. 場所 なかよし3組

3. 学年 1年生(5名) 2年生(8名) 3年生(3名) 4年生(6名) 5年生(3名) 6年生(4名)

4. 単元名 「お楽しみ会の感想を伝えよう」

5. 単元の目標

- ・お楽しみ会で心に残ったことを選択することができる。
- ・伝えたいことを考えることができる。
- ・相手に伝わるように発音や声の大きさに気を付けることができる。
- ・発表している人の方を見て聞くことができる。

6. 本単元で取り組む言語活動

- ・身近な人からの話しかけに注目したり、応じて答えたりする活動「げんきしらべ」
- ・思ったことや伝えたいことを書く活動「発表メモ」
- ・伝えたいことを話したり聞いたりする活動「発表会」

7. 単元の評価規準

【知】【思】 個別の評価規準に記載

【態】 1・2年 これまでの学習を生かし、感想を伝えようとしている。

3・4年 積極的に相手を見て話したり聞いたりし、感想を伝えようとしている。

5・6年 粘り強く、自分の考えが伝わるように話し方を工夫し、学習の見通しをもって、感想を伝えようとしている。

8. 単元の指導と評価の計画(全4時間)

時	日程	学習活動	学習評価
			◎記録に残す評価 ○指導に生かす評価
第一時	7月5日(金)	お楽しみ会のことをふりかえる	○態(様子・発言)
第二時	7月8日(月)	伝えたいことを考える①	○思(様子・発言)
第三時	7月9日(火)	伝えたいことを考える②	○知(様子・発言・記述)
	7月10日(水)	伝え方の練習と質問の練習	○態(様子・発言) ○知(様子・発言) ○思(発表)
第四時	7月11日(木)【本時】	お楽しみ会の感想を伝える	◎思(発表・発言)

8. 本単元に関わる児童の実態と個別の目標

〈なかよし 1組〉

児童	児童の実態		個別の目標	個別の評価規準			取り組みや手立て
				知技	思判表	主体	
4年 A	書くこと 話すこと 聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間、姿勢を保持・集中して学習することが困難である。 ・自分の興味のあることには、とても前向きに取り組み、学習意欲を発揮する。 ・語彙が少ないため、言葉で相手に意図を伝えることが苦手。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話す人の方を見ながら聞くことができる。 ・伝えたいことを決め、三文程度で話すことができる。(本時) ・伝えたいことに合う理由や資料を選ぶ。 	知技 1・2年 (2)ア	思判表 1・2年 A(1)ア A(1)エ	主体 3・4年	<ul style="list-style-type: none"> ① お楽しみ会をふりかえる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートCを活用しながら出来事やその時の気持ちを整理させる。 ② 伝えたいことを選ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい事柄を教師と一緒に考え、発表メモを作る。 ・本児が話すことを教師が書き取り、原稿が書きやすいように構成する。 ③ 原稿を自分で書く。 <ul style="list-style-type: none"> ・教師の書き取りメモをもとに自分で原稿を書く。 ④ 伝え方の練習をする。
4年 B	話すこと 書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・話すことは好きだが、順序だてて言葉を組み立て、相手に伝えることが難しい。 ・自分が書きたいことを言語化することが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験したことや頑張ったこと等を考えることができる。 ・相手に伝わるように読むことができる。(本時) 	知技 支・小 3段階 ウ・(イ)	思判表 支・小 2段階 A・ウ	主体 1・2年	<ul style="list-style-type: none"> ①お楽しみ会をふりかえる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートCを活用しながら出来事やその時の気持ちを整理させる。 ②伝えたいことを選ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい事柄を教師と一緒に考え、清書する。 ③伝え方について、自分のできそうなことを教師と相談しながら決める。 ④伝え方を練習する。
4年 C	話すこと 書くこと 聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の言葉をよく聞いて、自分の中に落とし込むことができる。ただし、自分の興味のある事、機嫌のよい時に限る。 ・些細なことでイライラし、そうすると気持ちを抑えられず、破壊行動をとったり、その場に留まることができなくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えることを理由や資料から選び、組み立てることができる。 ・座って相手の発表を聞くことができる。(本時) ・前に出て、伝わるように発表ができる。(本時) 	知技 1・2年 (1)ア	思判表 3・4年 A(1)ア	主体 3・4年	<ul style="list-style-type: none"> ①お楽しみ会をふりかえる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートCを活用しながら出来事やその時の気持ちを整理させる。 ②伝えたいことを選ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい事柄を教師と一緒に考え、清書する。 ③伝え方について、自分のできそうなことを教師と相談しながら決める。 ④伝え方を練習する。
4年 D	話すこと 書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・人前で大きな声で話すことが難しく、相手に自分の気持ちを伝えることが苦手である。 ・文章を順序だてて書くことが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えることを理由や資料から選び、組み立てることができる。 ・大きな声で相手に伝えることができる。(本時) 	知技	思判表	主体	<ul style="list-style-type: none"> ①お楽しみ会をふりかえる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートCを活用しながら出来事やその時の気持ちを整理させる。 ②伝えたいことを選ぶ。

				1・2年 (2)ア	3・4年 A(1)ア	3・4年	・伝えたい事柄を教師と一緒に考え、清書する。 ③伝え方について、自分のできそうなことを教師と相談しながら決める。 ⑤ 伝え方を練習する。
6年 E	話すこと 書くこと	相手に伝えるために話したり、書く時に筋道の通った構成を考えたりすることが苦手である。	・自分の考えの理由を「なぜなら、〇〇だからです。」と伝えることができる。 ・伝えたいことを伝えるために、声を張って話したり、視線に気をつけて話したりすることができる。(本時)	知技 3・4年 (1)カ	思判表 3・4年 A(1)イ B(1)ウ	主体 5・6年	①お楽しみ会をふりかえる。 ・写真や動画をみて、お楽しみ会当日の出来事や気持ちを思い出させる。 ②ワークシートに書き出す。 ・楽しかったことや頑張ったことを書き出す。また、その理由や、今後の活動への抱負を書かせる。 ③発表用の原稿をワークシートを参考に作成する。 ・推敲させる。作成したら一度読み上げさせる。 ・話型を示す。 ④発表の練習をする。
児童	児童の実態		個別の目標	個別の評価規準			取り組みや手立て
6年 F	話すこと 書くこと	・話すことは好きだが、語彙が少なく、時系列が合わないので相手に意図が伝わりにくい。 ・「を・は」などの助詞が定着していない。	・順序や組み立てに気をつけて、意図が伝わる文章を書くことができる。 ・大きな声で相手に伝えることができる。(本時)	知技 1・2年 (1)ア	思判表 1・2年 A(1)ア	主体 5・6年	①お楽しみ会をふりかえる。 ・ワークシートCを活用しながら出来事やその時の気持ちを整理させる。 ②伝えたいことを選ぶ。 ・伝えたい事柄を教師と一緒に考え、清書する。 ③伝え方について、自分のできそうなことを教師と相談しながら決める。 ④伝え方を練習する。

〈なかよし 2組〉

児童	児童の実態		個別の目標	個別の評価規準			取り組みや手立て
2年 G	話すこと 聞くこと	・大きな声で発表することができるが、自信がなく、勢いに乗ることができなかった時に固まってしまうことがある。 ・友だちや先生の話している内容の理解が難しい。かみ砕いて伝えたり、本見に合った目標設定をしたりすることでできることが増える。 ・出来事を自由に話すことができ、詳しく質問すると、理由や気持ちを話すことができることがある。	・したこと、楽しかったことを言葉で伝えることができる。 ・「がんばったこと」や「たのしかったこと」を2分程度の文に表すことができる。 ・元気な声で自分の気持ちを発表することができる。(本時) ・友だちの発表を聞くことができる。(本時)	知技 支小 2段階 ア(ア) イ(ウ)①	思判表 支小 2段階 Aウ Bア	主体 1・2年	①お楽しみ会をふりかえる。 ・お楽しみ会の写真を用い、ワークシートCを活用しながら出来事やその時の気持ちについて、言葉で表したものを教師がメモをする。 ②教師のメモを元に原稿を書く。 ③伝え方の練習をする。
2年	書くこと	・簡単な文章構成をして伝えることができ、話	・振り返ったことを自分の言葉で書き表すことができる(3文程	知技	思判表	主体	① お楽しみ会をふりかえる。

H	話すこと 聞くこと	し方の型があると自分の気持ちを取り入れて文を書くことができる。 ・慎重になりすぎて、思いを持っていても、それを書いたり発表したりすることに時間がかかってしまうことがある。 ・文章の量を増やすことに積極的なので、何について書くか提示することで自信をもって書くことができる。	度)。 ・自分の書いた文章を正しい表記に直すことができる。 ・自分の気持ちを「どうしてかと言うと、〇〇からです」と発表することができる。(本時) ・場に合う声の大きさを発表する練習をする。 ・友だちの顔を見て発表を聞くことができる。(本時)	1・2年 (1)ア	1・2年 A(1)ア A(1)イ	1・2年	・お楽しみ会の写真を用い、ワークシートCを活用しながら出来事やその時の気持ちを整理させる。 ②ワークシートに「どうしてかと言うと、〇〇からです」の話型に当てはめて原稿を書く。 ③伝え方の練習をする。
2年 I	話すこと 聞くこと	・物知りで話したい気持ちも強く出来事のよいところにも気づくことができるが、話の順を追って話すことは難しい。 ・文字をまだ覚えられておらず、書くことに対するの苦手意識が強い。 ・文章は一文字読みか正しく読めないで、発表するには覚えるくらいの練習が必要である。	・「楽しかったこと」や「どうなったときが楽しかったか」を口頭で伝えることができる。 ・元気な声で自分の気持ちを発表することができる。(本時) ・友だちの発表を聞くことができる。(本時)	知技 支小 2段階 ア(ア) イ(ウ)④	思判表 支小 2段階 Aウ Bア	主体 1・2年	①お楽しみ会をふりかえる。 ・お楽しみ会の写真を用い、ワークシートCを活用しながら出来事やその時の気持ちについて、言葉で表したものを教師がメモをする。 ②教師のメモを元に原稿を書く。 ③伝え方の練習をする。
2年 J	書くこと	・自分の気持ちは短文で伝えることができるが、順序立てて初めから終わりまで話すことは難しい。 ・理由や工夫したことは質問をすると話すことができる。 ・自分の思いを正しい表記で文章に表すことや、文章を構成することは難しい。 型にあてはめて文章を構成したり、正しい表記になるように書き写したりして文章を作る練習をしている。	・「がんばったこと」「楽しかったこと」など、理由をつけて3文程度の文章をつくることができる。 ・作った文章を読み返す習慣を身に付ける。 ・間違った言葉や文章を直すことができる。 ・長音、拗音、促音、撥音の表記、助詞「は」「へ」「を」、句読点、かぎ(「」)を正しく使うことができる。 ・相手に伝えるために、声の大きさや速さに注意して伝えることができる。(本時)	知技 1・2年 (1)ウ	思判表 1・2年 B(1)ウ B(1)エ	主体 1・2年	①お楽しみ会をふりかえる。 ・写真や動画をみて、お楽しみ会当日の出来事や気持ちを思い出させる。 ②ワークシートCに書き出す。 ・楽しかったことや頑張ったことを書き出す。また、その理由や、今後の活動への抱負を書かせる。 ③発表用の原稿をワークシートCを参考に作成する。 ・推敲させる。作成したら一度読み上げさせる。 ④発表の練習をする。
1年 K	書くこと 話すこと 聞くこと	・書かれた文章を読むことはできるが、問われたことに合う答えを自分で考えることは難しい。 ・～したい?～楽しかった?～好き?の質問は答えやすい。その際、追加で発言できた言葉を聞き取り文章で書き表すことで、それを読んで発表することができる。	・したこと、楽しかったことを言葉で伝えることができる。 ・教師と一緒に自分の気持ちを「どうしてかと言うと、〇〇からです」と発表することができる。(本時) ・友だちの発表の時、その場にいることができる。(本時)	知技 支小 2段階 ア(ア) イ(ウ)④	思判表 支小 2段階 Aウ Bア	主体 1・2年	①お楽しみ会をふりかえる。 お楽しみ会の写真を用い、ワークシートCを活用しながら出来事やその時の気持ちについて、言葉で表したものを教師がメモをする。 ②教師のメモを元に原稿を書く。 ③伝え方の練習をする。
1年	話すこと	・文字は一文字ずつ読み、耳で聞いて練習を	・したこと、楽しかったことを選んだり、自分の言葉で伝えたり	知技	思判表	主体	①お楽しみ会をふりかえる。

L	聞くこと	すると覚えて言葉のまとまりで読むことができる。 ・自分で書き表したい気持ちはあるが、まだ全てのひらがなを読んだり書いたりすることは難しい。 ・具体的な追質問を重ねることで伝えたいことを明確にできる。	することができる。 ・自分の気持ちを「どうしてかと言うと、〇〇からです」と発表することができる。(本時) ・友だちの顔を見て発表を聞くことができる。(本時)	1・2年 (1)ア	1・2年 A(1)ア A(1)イ	1・2年	・お楽しみ会の写真を用い、ワークシートCを活用しながら出来事やその時の気持ちについて、言葉で表したものを教師がメモをする。 ②教師のメモを元にワークシートに「どうしてかと言うと、〇〇からです」の話型に当てはめて原稿を書く。 ③伝え方の練習をする。
---	------	---	--	--------------	------------------------	------	---

〈なかよし 3組〉

児童	児童の実態		個別の目標	個別の評価規準			取り組みや手立て
5年 M	話すこと 聞くこと 書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 書かれた文章を正しく発音することに苦手意識があるが、訂正を受け入れられるため練習ができ、人前に立って発表することに意欲的である。 相手の方に体を向けて話を聞くことができる。 週末の出来事を伝える文章(自分が主の出来事)は、自分で話題を決めて伝えたいことを発表の型にあてはめて書くことができるが、学校での作文や感想文には抵抗がある。 書いた文を、相手に伝わる正しい表記や文章に手直ししていくという課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 原稿を見ながら、言葉や文のまとまりを意識して、正しい発音で発表することができる。(本時) 話の内容をよく聞いて、質問をすることができる。 気持ちと出来事を結び付けて3～5文の文章を作ることができる。 自分の文を読み直し、正しく直す箇所を一つ見つけることができる。 	知技	思判表	主体	1. (1)ふりかえりカードで自分のがんばりを振り返り、次はもっとこうしたいことを考える。「もっとたくさんセリフのある司会をやりたい」(2)何について作文を書くか考える。①何があったかを整理する。店の種類、店番、準備、係活動を思い出していく。②気持ちカードを見て、思いつくことがあるか考える。友だちの話を聞いて、同じ思いはないか考える。(教師:今までの活動～当日までの出来事や頑張りを伝えて気持ちや思い出を引き出すようにする。) 2. (1)前時の活動のメモを見て、気持ちと出来事を結び付けて3～5文の文章を作成する。書き方の例を見ながら文を作る。 (2)誤字脱字や正しい文章で書けているか読み直し、相手に伝わりやすい文章になるよう手直しをする。 3. 言葉を正しく読んで発表できるように練習をする。少人数グループで発表の聞き合いをする。
				1・2年 (1)-イ・ オ	A-(1)- ウ	3・4年	
					1・2年 A-(1)- エ		
5年 N	話すこと 聞くこと 書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 日常会話は得意であるが、発表の言葉(相手に伝わる詳しくや丁寧な言葉など)を練習する必要がある。 相手を見ること、話の内容を聞き取る(大事な部分はどこかを見つける)ことが苦手である。 型どおり(4W+一言感想)に一文を作ることには得意であるが、出来事や感想を詳しく書いて文章量を増やしていくことが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧な言葉を使って、相手を意識した声の大きさと、3文程度の文で話することができる。(本時) 発表する人を見て、最後まで話を聞くことができる。 気持ちと出来事を結び付けて3～5文の文章を作ることができる。 出来事や様子を詳しく表すための言葉や文をつけ足すことができる。 	知技	思判表	主体	1. (1)ふりかえりカードで自分のがんばりを振り返り、次はもっとこうしたいことを考える。「もっと一年の子たちにいろいろ教えてあげたい。」 (2)何について作文を書くか考える。①気持ちカードを見て、思いつくことがあるか考える。②思いつくことがあるものは言葉で伝える。(教師:詳しく尋ねる質問を繰り返す。言葉を書きとめる。) 2. (1)前時の活動のメモを見て、気持ちと出来事を結び付けて3～5文の文章を作成する。書き方の例を見ながら言葉をあてはめて文を作る。 (2)文章読み直し、相手に伝わりやすい詳しい文章にな
				3・4年 (1)-キ	A-(1)- ウ	3・4年	
					1・2年 A-(1)- エ		
					1・2年 B-(1)- エ		

					ウ		<p>るよう手直しをする。</p> <p>3.相手に聞こえる声の大きさを発表できるように練習をする。少人数グループで発表の聞き合いをする。</p>
4年 O	書くこと 話すこと	<p>・書きたいことや伝えたいことを表現するのに時間がかかり、固まってしまうこともあったが、書く前話す前にある程度時間をとると、どんどん進めていくことができるようになってきている。</p> <p>・決まった内容を組み立てて書くことやわかりやすく伝える力は高く、本人の強みである。</p> <p>・声の大きさに課題はあるが、間のとり方に気を付けて話すことができる。</p>	<p>・話す人の方を見ながら聞くことができる。</p> <p>・声の調子や強弱などを工夫して伝えることができる。(本時)</p> <p>・伝えたいことに合う理由や資料を選ぶ。</p>	知技	思判表	主体	<p>① お楽しみ会をふりかえる。</p> <p>・ワークシートCを活用しながら出来事やその時の気持ちを整理させる。</p> <p>② 伝えたいことを組み立ててメモから原稿にする。</p> <p>・「はじめ」「中」「おわり」で書けるよう声掛けをする。</p> <p>③ 伝え方の練習をする。</p>
				3・4年 (1)イ	3・4年 A(1)ア A(1)エ	5・6年	
1年 P	書くこと 話すこと 聞くこと	<p>・文字は言葉のまとまりで読むことができる。・初めての言葉や知らない言葉では、ゆっくりと読む。</p> <p>・ひらがなはほとんど間違わずに書けるが、まだ完全ではない。</p> <p>・話したいことはあるが、うまくまとめて話せない。</p>	<p>・振り返ったことを自分の言葉で書き表すことができる。</p> <p>・自分の気持ちを「どうしてかと言うと、〇〇からです」と発表することができる。(本時)</p> <p>・友だちの顔を見て発表を聞くことができる。(本時)</p>	知技	思判表	主体	<p>② お楽しみ会をふりかえる。</p> <p>・お楽しみ会の写真を用い、ワークシートCを活用しながら出来事やその時の気持ちを整理させる。</p> <p>②ワークシートに「どうしてかと言うと、〇〇からです」の話型に当てはめて原稿を書く。</p> <p>③伝え方の練習をする。</p>
				1・2年 (1)ア	1・2年 A(1)ア A(1)イ	1・2年	
1年 Q	書くこと 話すこと 聞くこと	<p>・文字は一文字ずつ読み、耳で聞いて練習をすると覚えて言葉のまとまりで読むことができる。</p> <p>・自分で書き表したい気持ちはあるが、まだ全てのひらがなを読んだり書いたりすることは難しい。</p> <p>・具体的な追質問を重ねることで伝えたいことを明確にできる。</p>	<p>・振り返ったことを自分の言葉で書き表すことができる。</p> <p>・自分の気持ちを「どうしてかと言うと、〇〇からです」と発表することができる。(本時)</p> <p>・友だちの顔を見て発表を聞くことができる。(本時)</p>	知技	思判表	主体	<p>③ お楽しみ会をふりかえる。</p> <p>・お楽しみ会の写真を用い、ワークシートCを活用しながら出来事やその時の気持ちを整理させる。</p> <p>②ワークシートに「どうしてかと言うと、〇〇からです」の話型に当てはめて原稿を書く。</p> <p>③伝え方の練習をする。</p>
				1・2年 (1)ア	1・2年 A(1)ア A(1)イ	1・2年	
1年 R	書くこと 話すこと 聞くこと	<p>・文字は一文字ずつ読み、耳で聞いて練習をすると覚えて言葉のまとまりで読むことができる。</p> <p>・自分で書き表したい気持ちはあるが、まだ全てのひらがなを読んだり書いたりすることは難しい。</p> <p>・具体的な追質問を重ねることで伝えたいことを明確にできる。</p>	<p>・自分の感想を持ち、書くことができる。</p> <p>・教師と一緒に自分の気持ちを「どうしてかと言うと、〇〇からです」と発表することができる。(本時)</p> <p>・友だちの発表の時、その場にいることができる。(本時)</p>	知技	思判表	主体	<p>①お楽しみ会をふりかえる。</p> <p>お楽しみ会の写真を用い、・ワークシートCを活用しながら出来事やその時の気持ちについて、言葉で表したものを教師がメモをする。</p> <p>②教師のメモを元に原稿を書く。</p> <p>③伝え方の練習をする。</p>
				支小 2段階 ア(ア) イ(ウ)④	支小 2段階 Aウ Bア	1・2年	

児童	児童の実態		個別の目標	個別の評価規準			取り組みや手立て
2年 S	書くこと 話すこと 聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 内容のまとまりを意識しにくく、書くときに語と語の続き方に注意を向けるための手立てが必要である。 話すことが好きで、積極的に発言をしようとするが、人前になると急に自信を無くしてしまい、固まってしまうことがある。 友だちや先生の話聞き、内容を理解していないまま分かったつもりになって全く違う意味にとらえてしまうことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 振り返ったことを自分の言葉で書き表すことができる。 自分の気持ちを「どうしてかと言うと、〇〇からです」と発表することができる。(本時) 友だちの顔を見て発表を聞くことができる。(本時) 	知技	思判 表	主体	<ul style="list-style-type: none"> ①お楽しみ会をふりかえる。 <ul style="list-style-type: none"> お楽しみ会の写真を用い、ワークシートCを活用しながら出来事やその時の気持ちについて、言葉で表したものを教師がメモをする。 ②教師のメモを元にワークシートに「どうしてかと言うと、〇〇からです」の話型に当てはめて原稿を書く。 <ul style="list-style-type: none"> 語を○で囲み、かたまりを意識して視写出来るようにする。 ③伝え方の練習をする。○で囲み、語のかたまりを意識して読めるようにする。
2年 T	話すこと 聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 吃音があり、言葉に詰まることあるが、本人は気にせず積極的に発表をすることができる。言葉が出るまで、周りがじっくりと待つ必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 振り返ったことを自分の言葉で書き表すことができる。 自分の気持ちを「どうしてかと言うと、〇〇からです」と発表することができる。(本時) 友だちの顔を見て発表を聞くことができる。(本時) 	知技	思判 表	主体	<ul style="list-style-type: none"> ①お楽しみ会をふりかえる。 <ul style="list-style-type: none"> お楽しみ会の写真を用い、ワークシートCを活用しながら出来事やその時の気持ちについて、言葉で表したものを教師がメモをする。 ②教師のメモを元にワークシートに「どうしてかと言うと、〇〇からです」の話型に当てはめて原稿を書く。 ③伝え方の練習をする。
2年 U	書くこと 話すこと 聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いを一方的に書いたり話したりすることが多い。 友だちとの関わりが難しく、友だちの発表に興味を持って聞くことが課題である。 ゴールとがんばったら「やりたいこと」を事前に示すことでできることが増える。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の感想を持ち、書くことができる。 教師と一緒に自分の気持ちを「どうしてかと言うと、〇〇からです」と発表することができる。(本時) 友だちの発表の時、その場にいることができる。(本時) 	知技	思判 表	主体	<ul style="list-style-type: none"> ①お楽しみ会をふりかえる。 <ul style="list-style-type: none"> お楽しみ会の写真を用い、ワークシートCを活用しながら出来事やその時の気持ちについて、言葉で表したものを教師がメモをする。 ②教師のメモを元に原稿を書く。 ③伝え方の練習をする。
児童	児童の実態		個別の目標	個別の評価規準			取り組みや手立て
2年 V	話すこと 聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 発語が少なく、自分の思いを言葉で伝えることが難しい。 集中して聞くことができる時間が短く、語彙が少ないため、指示を聞いても理解できないことが多い。 人と関わるのが好きで身振りや発声ですすんで声をかけることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 座って発表を聞くことができる。 前に出て選んだ写真をはり、頑張ったことや楽しかったことを教師と一緒に伝えることができる。(本時) 発表したい写真を選ぶことができる。 	知技	思判 表	主体	<ul style="list-style-type: none"> ① お楽しみ会をふりかえる。 <ul style="list-style-type: none"> 本児が活躍していた場面の写真を提示しながら出来事やそのときの気持ちを想起させる。 感想場面の動画を視聴し、他の児童の感想を聞く。 ② 伝えたい写真を選ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> 本児の写真から頑張ったことや楽しかったことの写真を選ばせる。(予め、数枚に絞っておく。) ③ 選んだ写真に合わせて伝えたいことを決める。 ④ 伝え方の練習をする。
5年	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 集団での学習が困難なため、リモートを用 	<ul style="list-style-type: none"> タブレットを用いて自分の気持ちを表現することができる。 	知技	思判	主体	<ul style="list-style-type: none"> ①お楽しみ会をふりかえる。

W		いて参加するなどの手立てが必要。	<ul style="list-style-type: none"> ・原稿を見直し、相手に伝わりやすい表現になるよう、推敲することができる。 ・リモートで授業に参加し、自分の感想を「ドキュメント」を用いて発表することができる。(本時) 		表		<ul style="list-style-type: none"> ・お楽しみ会の写真を用い、ワークシートCを活用しながら出来事やその時の気持ちを整理させる。 ②伝えたいことを選ぶ。 ・伝えたい事柄を教師と一緒に考え、発表メモを作る。 ・「ドキュメント」に原稿を書く。 ③伝え方について、自分のできそうなことを教師と相談しながら決める。
				1・2年 (1)ア	3・4年 B(1) ア	3・4年	

〈なかよし 5組〉

児童	児童の実態		個別の目標	個別の評価規準			取り組みや手立て
3年 X	書くこと 話すこと 聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・書くことに苦手意識があり、伝えたいことを決めるのに時間がかかる。 ・みんなの前で発言、発表をすることに課題がある。 ・静かに最後まで聞くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話す人の方を見ながら聞くことができる。 ・伝えたいことを決め、三文程度で話すことができる(本時) ・伝えたいことに合う理由や資料を選ぶ。 	知技	思判表	主体	<ul style="list-style-type: none"> ⑥ お楽しみ会をふりかえる。 ・ワークシートCを活用しながら出来事やその時の気持ちを整理させる。 ⑦ 伝えたいことを選ぶ。 ・伝えたい事柄を教師と一緒に考え、発表メモを作る。 ・本児が話すことを教師が書き取り、原稿が書きやすいように構成する。 ⑧ 原稿を自分で書く。 ・教師の書き取りメモをもとに自分で原稿を書く。 ⑨ 伝え方の練習をする。
				1・2年 (2)ア	1・2年 A(1)ア A(1)エ	3・4年	
3年 Y	書くこと 話すこと		<ul style="list-style-type: none"> ・話す人の方を見ながら聞くことができる。 ・声の調子や強弱などを工夫して伝えることができる。(本時) ・伝えたいことに合う理由や資料を選ぶ。 	知技	思判表	主体	<ul style="list-style-type: none"> ④ お楽しみ会をふりかえる。 ・ワークシートCを活用しながら出来事やその時の気持ちを整理させる。 ⑤ 伝えたいことを組み立てメモから原稿にする。 ・「はじめ」「中」「おわり」で書けるよう声掛けをする。 ⑥ 伝え方の練習をする。
				3・4年 (1)イ	3・4年 A(1)ア A(1)エ	3・4年	
3年 Z	書くこと 話すこと		<ul style="list-style-type: none"> ・話す人の方を見ながら聞くことができる。 ・声の調子や強弱などを工夫して伝えることができる。(本時) ・伝えたいことに合う理由や資料を選ぶ。 	知技	思判表	主体	<ul style="list-style-type: none"> ⑦ お楽しみ会をふりかえる。 ・ワークシートCを活用しながら出来事やその時の気持ちを整理させる。 ⑧ 伝えたいことを組み立てメモから原稿にする。 ・「はじめ」「中」「おわり」で書けるよう声掛けをする。 ⑨ 伝え方の練習をする。
				3・4年 (1)イ	3・4年 A(1)ア A(1)エ	3・4年	
4年 a	書くこと 話すこと 聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・書くことに苦手意識があり、伝えたいことを決めるのに時間がかかる。 ・みんなの前で発言、発表をすることに課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・話す人の方を見ながら聞くことができる。 ・伝えたいことを決め、三文程度で話すことができる(本時) ・伝えたいことに合う理由や資料を選ぶ。 	知技	思判表	主体	<ul style="list-style-type: none"> ⑩ お楽しみ会をふりかえる。 ・ワークシートCを活用しながら出来事やその時の気持ちを整理させる。
				3・4年 (1)イ	3・4年 A(1)ア	3・4年	

		がある。 ・静かに最後まで聞くことができる。			A(1)エ		① 伝えたいことを選ぶ。 ・伝えたい事柄を教師と一緒に考え、発表メモを作る。 ・本児が話すことを教師が書き取り、原稿が書きやすいように構成する。 ② 原稿を自分で書く。 ・教師の書き取りメモをもとに自分で原稿を書く。 ③ 伝え方の練習をする。
6年 b	話すこと 書くこと	・相手の話をよく聞き、意図を感じ取ることができる。ただ、自分の思いに左右される。 ・文字を正確に書くことが苦手。形を覚えることが難しい。長い文章を書くことにも抵抗がある。	・順序や組み立てに気をつけて、意図が伝わる文章を書くことができる。 ・自分の思いを、丁寧に読み伝えることができる。(本時)	知技	思判表	主体	①お楽しみ会をふりかえる。 ・ワークシートCを活用しながら出来事やその時の気持ちを整理させる。 ②伝えたいことを選ぶ。 ・伝えたい事柄を教師と一緒に考え、清書する。 ③伝え方について、自分のできそうなことを教師と相談しながら決める。 ④伝え方を練習する。
				1・2年 (1)ア	3・4年 A(1)ウ	5・6年	
5年 c	話すこと 聞くこと	・発語は少ないが、意思を伝える言葉「はい。」「いいよ。」「だいじょうぶよ。」「いや。」「だめ。」「やらない。」は伝えることができる。 ・自分の思いを文章で伝えることは難しい。 ・語彙は少ないが、簡単な指示は理解できる。 ・前に出て発表したいという意欲がある。	・話す人の方を見て発表を聞くことができる。 ・前に出て選んだ写真を見せ、教師といっしょに心に残ったことを伝えることができる。(本時) ・発表したい写真を選ぶことができる。	知技	思判表	主体	① お楽しみ会をふりかえる。 ・本児が活躍していた場面の写真を提示しながら出来事やそのときの気持ちを想起させる。 ・感想場面の動画を視聴し、他の児童の感想を聞く。 ② 伝えたい写真を選ぶ。 ・本児の写真から頑張ったことや楽しかったことの写真を選ばせる。(予め、数枚に絞っておく。) ③ 選んだ写真に合わせて伝えたいことを決める。 ④ 伝え方の練習をする。
				支小 1段階 ア(ア)	支小 1段階 アイ Aウ	支小 1段階	

10. 本時の展開(4/4時間目)

(1) 本時の目標

お楽しみ会の感想を伝えることができる。

(2) 本時の評価規準

個別の目標に記載

(3) 展開

時	主な学習活動	指導上の留意点●	評価規準・評価方法
ウォーミングアップ 5分	1. げんきしらべ 名前を呼ばれたら、 「はい。よろしくおねがいします。」と言う。	担当:上野 発言の順番(1組→3組→5組→4組→2組) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29	評価:各担任 【態】これまでの「みんなのじかん」での活動を生かし、応答しようとしている。(観察・発言)
導入 5分	2. お楽しみ会をふりかえる スライドを見ながら、お楽しみ会のことを思い出す。	担当:原田 その時の気持ちを思い出せるように、場面ごとに挙手させる。 (5つの店の写真)	評価:各担任 【態】映像を見ながらお楽しみ会のことを思い出そうとしている (観察)
展開 1分	3. 本時の学習活動を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 10px auto;">おたのしみかいのかんそうをつたえよう。</div>	担当:芝・安達 大きくめあてを提示する。	
5分	4. 「話すとき」「聞くとき」についての確認をする。 発声の練習をする。	「話すとき」は相手がいることを意識して聞きやすい工夫をすること。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">声のものさし レベル4→クラスみんなに話す大きさ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ゆっくり はっきり おちついて</div> 練習→お楽しみ会は、楽しかったです。 「聞くとき」は話している人が「聞いてくれている。」とわかるようにすること。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">すわって しせい うなずく はくしゅ</div>	
25分	5. 順番を確認し、前に出て発表する。	担当:濱田 発表の順番(1組→3組→5組→4組→2組) マグネットで順番を提示し、見通しをもって取り組めるようにする。 児童に合わせて発表順を後に回すことも想定しておく。	評価:各担任 【思】座って発表を聞いている。 【思】前に出て伝えることができている。
4分	6. 今日のふりかえりをする。 ふりかえりカードに色をぬる。	担当:濱田 ふりかえりカード(拡大)を提示する。	評価:各担任 【態】◎自己評価◎学習調整

11. 本時における具体的な児童の状況

おおむね満足できる(B)	努力を要する児童の支援(C)
○前に出てみんなに伝えることができる。	○個別の声かけをする。 ○本時までの過程を認め、褒める。

伝える内容の段階	
写真や絵から伝えたいことを選び、提示する。	
経験を3文から5文程度で伝える。	
経験や理由など5文から7文程度で伝える。	
はじめ・中・おわりや事柄の順序を考えて伝える。	